

(様式1)

子どもたちの体験活動「^{したいけん}志taiken」支援事業補助金 企画提案書

所在地
団体名
代表者名

部門	「taiiken」部門 ・ 「骨太」部門
事業名	
実施概要	<事業内容>
	<事業の効果、成果(目的)>
事業形態 ※継続事業には、本補助金を活用せずこれまで実施された取組を含む	新規事業 ・ 継続事業 ※ ※継続の場合は、規模の拡大または新たな内容を記載 ()
実施予定スケジュール	事業全体の実施期間(準備から精算まで):
実施体制	
対象者・定員	
実施場所	
参加費徴収予定	なし ・ あり(一人当たり 円)
参加者募集周知方法	
問い合わせ先	担当者名: TEL: メールアドレス:

活動のアピール

○提案している活動について、選考基準に沿って記載してください。

項 目	内 容
子ども自らが考える骨太な体験が含まれていること ※骨太部門のみ記入	
地域での体験・交流活動の活性化(広がり)が期待できること	
子どもたちの佐賀への誇りや愛着が高まる内容となっていること	
多くの子どもたちの参加が見込まれること	
その他評価すべき点があること	

※上記の項目は、企画提案募集要領に記載の選考基準と同様です。

○一過性に終わらず継続的な地域活動を目指す(企画提案募集要領2(8)留意点に記載)ため、補助事業終了後の見通しについて箇条書きで記載してください。

--

(様式1) (記入例)

子どもたちの体験活動「志^{した}taiken」支援事業補助金 企画提案書

所在地
団体名
代表者名

併用して申請する場合は両方に○を付けてください。

部門	「taiken」部門 ・ 「骨太」部門
事業名	〇〇〇ウォークラリー&キャンプ体験
実施概要	<p><事業内容></p> <p>日常生活ではなかなか訪れる機会が少ない地域の史跡(〇〇〇、〇〇〇等)を歩いて巡り歴史等を学びながら、キャンプ場を目指す。キャンプ場においては、みんなで協力しながら薪割り、野外炊飯、テント設営等のキャンプ体験を行う。</p>
	<p><事業の効果、成果(目的)></p> <p>ウォークラリーでは、有識者や地域の方から各史跡の歴史等を話していただき学ぶことで、地域の魅力を再発見するとともに、キャンプ体験を通じては生きる力や協調性を養う。</p> <p>また、地域内の子どもたち同士や地域住民の方々との交流を図る。</p>
事業形態	新規事業 ・ 継続事業 ※ ※継続の場合は、規模の拡大または新たな内容を記載
※継続事業には、本補助金を活用せずこれまで実施された取組を含む	具体的に記載すること ※選考基準の1つです
	これまで参加者は小学生のみを対象としていたが、今回から対象を中学生まで拡大する。また、活動を行う際のグループ分けでは中学生と小学生が混合するようにし、一緒に協力し合いながらグループワークを行うことで、世代間の一層の交流が図れるよう工夫している。
実施予定スケジュール	事業全体の実施期間(準備から精算まで):6月中旬~9月下旬 ・チラシ作成、配布 6月中旬~7月中旬 ・有識者等との調整、物品手配 6月中旬~8月中旬 ・体験プログラム作成 7月上旬~8月中旬 ・体験又は交流事業の実施日 8月24日(土)~25日(日)
実施体制	・責任者 1名 ・スタッフ 4名、ボランティア 5名
	本事業の実施体制を記載(通常の団体の人員体制ではない)
対象者・定員	・小中学生 30名 ・保護者 5名
	参加対象者(小中学生)とそれ以外の人数をわけて記載
実施場所	〇〇〇キャンプ場及びその周辺
参加費徴収予定	なし ・ あり(一人当たり 子ども 1,000 円、大人 1,800 円)
参加者募集周知方法	学校へのチラシ配布、地区集会や子どもクラブ会合での周知
問い合わせ先	担当者名:〇〇〇 TEL:〇〇-〇〇-〇〇 メールアドレス:〇〇@〇〇

活動のアピール

○提案している活動について、選考基準に沿って記載してください。

項 目	内 容
子ども自らが考える骨太な体験が含まれていること ※「骨太」部門のみ記入	子どもにとって、初めての経験にチャレンジする仕掛けとして、集合場所までは公共交通機関を利用して子どもだけで来てもらい、子どもだけの参加とする。 また、各史跡で学んだことの発表会を実施し、発表会の進行や運営を子ども主体で実施する。
地域での体験・交流活動の活性化(広がり)が期待できること	地域内の学年、学校を越えた子どもたちや地域の方々が参加することで、幅広い人たちと触れ合うため、交流活動の広がりが期待できる。 また、学生ボランティアにも協力してもらうこととしており、今回の活動のノウハウを学生ボランティアに学んでもらうことで、活動の広がりが期待できる。
子どもたちの佐賀への誇りや愛着が高まる内容となっていること	地域の史跡について、有識者や地域の方から子どもたちに話をしたが、ふるさと佐賀への誇りや愛着が高まるように、話を聞くだけでなく、話を聞いた後に子どもたちが感想等を書き、発表する形式をとることとしている。
多くの子どもたちの参加が見込まれること	これまでも地区集会等による周知で、25名程度(小中学生20名、保護者等5名)の参加はあった。今回は小・中学校にチラシを配布し、これまでより広く周知を図るため、また、夏休み期間中でもあるため、多くの子どもたちの参加が見込まれる。
その他評価すべき点があること	・これまでも数多くの体験活動を実施してきた実績があり、円滑な運営と満足度の高い活動を実施することができる。 ・物品の調達にあたっては、地域 WAON カードで購入することとしている。 ・体験格差を無くすために参加者からの参加費は必要最低限徴収することとしている。

※上記の項目は、企画提案募集要領に記載の選考基準と同様です。

○一過性に終わらず継続的な地域活動を目指す(企画提案募集要領2(8)留意点に記載)ため、補助事業終了後の見通しについて箇条書きで記載してください。

- ・後継者の育成や会員募集を積極的に行う
- ・財源については、会費や寄付金、協賛金を積極的に募る
- ・事業を磨きあげていき、十分な参加費を徴収できる魅力的なプログラムを構築していく